がんばろう
末崎！
津波なんかに
負けない！

館報まっさき

第336号
令和4年12月20日
大船渡市立
末崎地区公民館
電話（F兼）29-2955

獅子舞・権現様・虎舞について

　獅子を崇める思想は、メソポタミアやエジプトのスフィンクスに始まり、これがシルクロードを通って中国では百戯・舞楽・散楽等と変化し、日本に入って伎楽・神楽・獅子舞・権現舞・虎舞になったと考えています。

7　獅子舞・権現舞等は神楽が起原

　神楽(かぐら)とは、来臨する神霊を迎える神座の意のカムクラからでたものと思われます。
　神楽の語の初見は大同２年（802）に成った「古語拾遺」(こごしゅうい)の「猨女(さるめ)君氏、供神楽之事」の記事であるとされています。
　宮廷では、神楽をもようしすることは少なくなりましたが、十二月を恒例とする内侍所御神楽が今でもあるとされています。
　一方、民間でも神招き・神がかりを中心とした巫者の神楽は各地でおこなわれ、またそれに湯立ちなども結合して、湯をもって生命の復活をはかる湯立神楽も流布するようになりました。
　また、近世になると、出雲の佐陀大社あたりで巫者の神招きや鎮魂の舞を前段に置き、後半に記紀の神話にちなんだ神々の歌舞を猿楽の能風に仕組んで演じる神能（佐陀神能）を編み出したことから、これが各地に普及し、いわゆる出雲流神楽の系統が生まれました。
　このほか大陸伝来の獅子舞を神の使者、あるいは悪魔調伏のご神体と見立てて舞わすことも近世にさかんになり、特に伊勢や熱田の御師たちがこれを大神楽の名でもって各地を巡回し、また東北では各地の霊山に拠った山伏たちがこれを権現のご神体とあがめ、権現舞と称して村々で舞わし、加えて種々の神話や語り物に材を採った舞曲を演じるようになりました。山伏神楽・番楽・能舞などとよばれるものがそれであります。(紀)

早池峰神社　岳神楽　権現舞

末崎の公共交通を考える

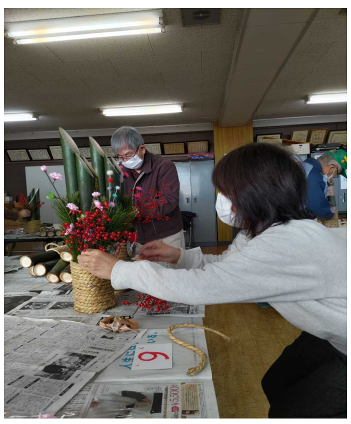
　末崎地区に関わる公共交通といえば、BRT、県交通のバス（高田線と碁石線）、タクシー等である。県交通高田線は利用者数が少ないことから12月29日をもって廃止することが決まっている。タクシーは12月19日から初乗り1km料金540円から610円に値上げになった。これらのことから市当局は、末崎地区の公共交通について、日頃市地区で実施している「デマンド型交通」にしてはどうか、と提案してきた。
　「**デマンド型交通**」とは、利用者の予約に応じる形で、運行経路や運行スケジュールをそれに合わせて運行する地域公共交通のことである。
　デマンド型交通にはいろいろな方式・形態がある。日頃市地区での運行形態は**エリア型**で、そのエリア型の中の**起終点固定デマンド型**というものである。
　起終点固定デマンド型とは起点の出発時刻または終点の到着時刻のみ固定しており、起点出発前に予約を受けた地点を経由して運行する形態。
　乗降できる地点は指定されており、特定のエリア内に多数配置されている。決まった経路で運行するわけではなく、運行前に予約した利用者が乗降を希望した地点のみに停車し、予約の入っていない地点には立ち寄らない。
　日頃市地区では、次のような形で運行されている。

1　運行日は平日。土日祝日および年末年始は運休。
2　運行区間・料金
　日頃市地区内は1人500円
　日頃市地区からサンリア、盛駅、市役所、大船渡病院までは、1人1,000円
　日頃市地区から大船渡駅、マイヤ大船渡店までは1人1,500円
3　利用できる方
　市内在住の方で事前に利用登録された方
4　登録申請
　事前に市役所にて登録申請書に氏名、住所等を記載して提出する必要がある。
5　現在の登録者数は125人
　運行時刻表
　（往き）日頃市地区7時、9時、10時30分、13時の4便
　（帰り）大船渡地区発12時、15時の2便
　予約時間
6　利用日の前日7時30分から16時30分までにタクシー会社に電話して予約する。

　以上の運行条件等については、日頃市地区と市当局が協議し、日頃市地区が市に要望する形で、年2回開催される**公共交通会議（陸運局、タクシー協会、大船渡市の3者による会議）**に諮られ決定したものである。
　末崎地区で導入にする場合は、いくつかの課題がある。
①利用できるのは、市内に住んでいる人で事前登録した人のみとなっていることから、観光客は利用できないので観光振興や交流人口促進事業に活用できない。
②利用できる範囲も市内のみであることから、陸前高田市と隣接している当地区は陸前高田市へ通院や買い物へ行く機会が多いが利用できない。
　末崎地区でデマンド型交通を導入するか否かについては、地域公民館長を通して各地域の意見を伺うとともに地区の要望が公共交通会議でどれ程受け入れられるか状況を見ながら、地域公民館長会議で検討し決定したいと考えている。

★門松づくり実施

　末崎地区公民館は、12月18日、ふるさとセンターにおいて「門松づくり」を行いました。参加者は19名。講師は「どこ竹@武蔵野三鷹」末崎グループの方々。今年の門松は、これまでよりずっとおおきく、高さ50cm程の大きさで重量感もあり、玄関先にも飾れるとあって、皆さん協力しながら一生懸命製作に取り組んでいました。出来映えも立派でした。



★楽しく学ぶ！認知症予防講座

　末崎地区助け合い協議会は、12月6日、「ふるさとセンター」において「認知症予防講座」を開催しました。参加者は33名。「認知機能の低下を予防するためには」と題して、明治安田生命保険相互会社岩手南支社大船渡営業所地域担当課長中井正純氏のご講演をいただきました。日本における認知症の高齢者人口2025年には約5人に1人、2050年には約3人に1人が認知症になるといわれています。認知症は様々な原因で脳細胞が死滅することによって社会生活を支える認知機能が低下し社会生活に支障がでる状態が継続している状態を言います。認知機能の低下を予防するためには、①頭を使い（脳を使い）、②身体を動かすこと。いろいろな人と会話し楽むこと。③人の役に立つことや相手に喜んでもらえる活動もすることが大切だと話された。

★末崎地区助け合い協議会主催 ふれあいボッチャ大会

日時　1月27日(金)　午前9時30分～12時
場所　ふるさとセンター　体育室
大会規則
(1)チーム対抗とする
(2)総対戦のリーグ戦とする
(3)3人対3人で対戦し持球は1人2球とする
表彰　3位まで表彰
参加料　無料
参加資格　末崎町民（誰でも可）
参加申込み　当日受付にて申込み
事前申込　ふるさとセンター（29－2955）
その他　参加者全員に参加賞

★「新年書初め会」の参加者募集について

日時　令和5年1月4日（水）　午後1時～3時
場所　菊池平八郎宅　門之浜81番地
主催　末崎長寿書道会
講師　現日会審査員　陸奥書道会審査員　今野雲上氏
対象　子供から大人
持参　筆・墨汁・ぶんちん　すずり・下敷等　用紙は、主催者で準備します。
参加料　無料
申込み　12月末日まで電話で連絡を（当日参加可）　事務局☎29－2270
書初展　1月15日(日)から2月15日まで、大船渡温泉で1ケ月間展示します。